

広報

2025年3月
VOL.333

よろん

ひとの動き

【令和7年1月末時点】

人口 5,053人

男：2,468人

女：2,585人

世帯数 2,661世帯

【表紙の写真】令和7年3月末で中央公民館は閉館します。これまで本当にありがとうございました。さて、ここに集った皆さん。この方々と公民館はどんな関係でしょうか？ 答えはP6へ



特集

与論町の防災

～避難訓練2025～

2025年1月、阪神・淡路大震災から30年を迎えました。この30年の間、阪神・淡路大震災の教訓を生かし、各地で防災対策や避難訓練が行われてきました。与論町でもこれまでの防災訓練の経験を活かし、1月25日に「地震・津波防災ワークショップ」、2月9日に「町内一円の道路を使用した車両避難訓練」を行いました。各集落から有志の方々に参加いただいた他、役場職員、消防団員も含め、延べ人数100名以上が参加しました。

協力：清水建設株式会社 / 鹿児島大学

地震・津波防災ワークショップ

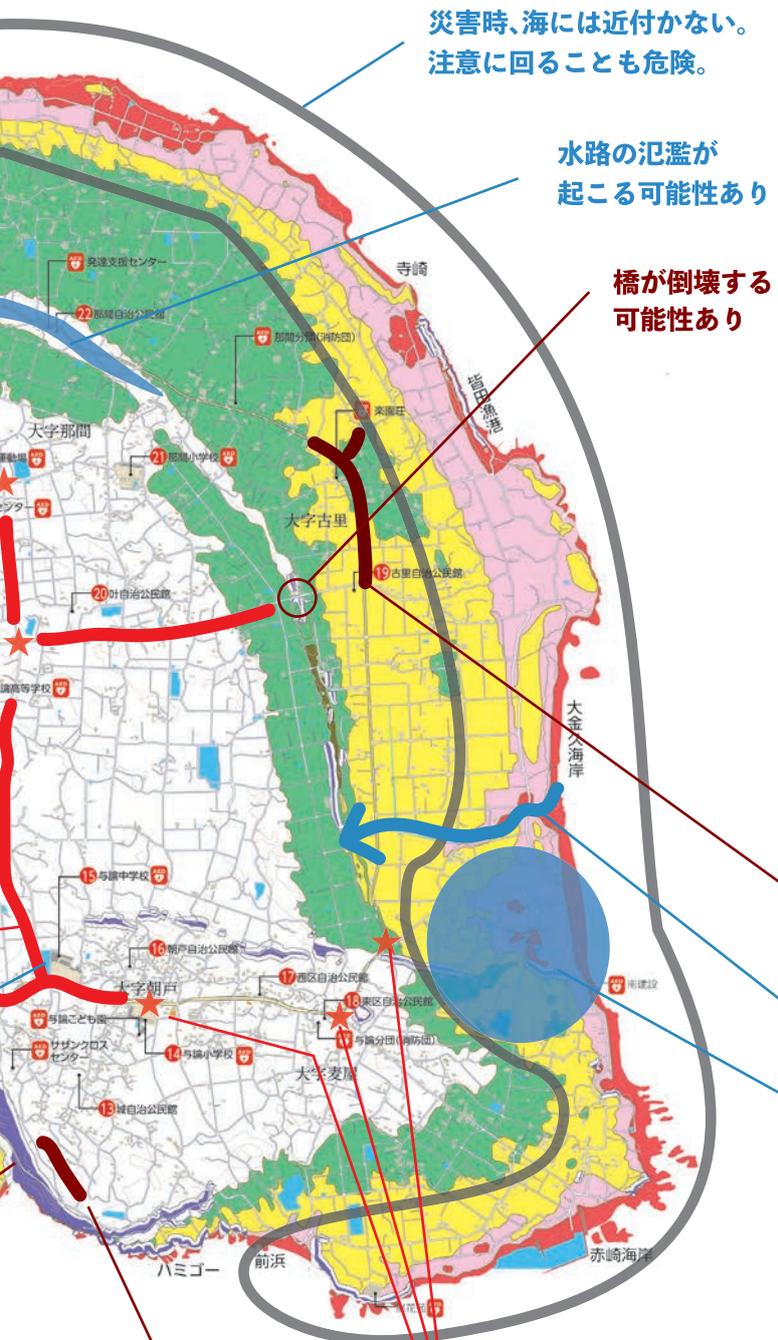
2025.1.25

ワークショップの前半は鹿児島大学 学術研究院 理工学域 海洋土木工学プログラム准教授であり、防災士の資格を持つ柿沼太郎准教授による津波に関する講話を聞きました。

後半はどのルートを使って避難すべきか、どのような危険が予測されるかなどを各集落ごとに分かれて話し合い、防災マップへ書き込みました。 ※書き込んだ主な内容は左記参照



▲立長集落のグループワーク



災害時、海には近付かない。
注意に回ることも危険。

水路の氾濫が
起こる可能性あり

橋が倒壊する
可能性あり

倒木、ブロック塀の倒壊、自販機の転倒などで
道路が通行不可能になる可能性あり

クズレ橋付近は、海からの水が遡上する可能性あり

液状化する可能性あり

石垣が崩れる
可能性あり

★…渋滞予測箇所

百合ヶ浜入口→かめや商店→与論小学校までは
渋滞が予想される。交差点は誘導係が必要かも。

塀や電柱の倒壊で通行不可能になる可能性もある。



◀車両避難訓練時の渋滞の様子

約60台で
実施!

町内一円の道路を使用した車両避難訓練

2025.2.9

【避難訓練コース】

- ① A-coop → ピアーヌパンタ → 与論中学校
- ② 与論中学校 → 与論小学校 (30台は、うのき商店前でUターン)
- ③ 与論小学校 → 竹村自動車 → 谷山建材店手前
- ④ 与論小学校 → 古里一直線 → 叶池前十字路 } → 与論町役場



▲A-coop で買物中に地震発生! (訓練)

ポイント

- ・先頭の車を、どれだけスムーズに先導できるか
- ・校庭に何台ぐらいの車が入るか予測する
- ・交差点や避難所入口など、車同士がかり合う場所でスムーズに誘導できるか
- ・避難した場所が危険であったり、受入れが困難な場合、別の避難先へスムーズに移動できるか(段階避難)

※当初、最終地点は与論高校の予定でしたが、グラウンド状態により役場に変更しました



▲与論小学校グラウンド(避難所)へ誘導している様子



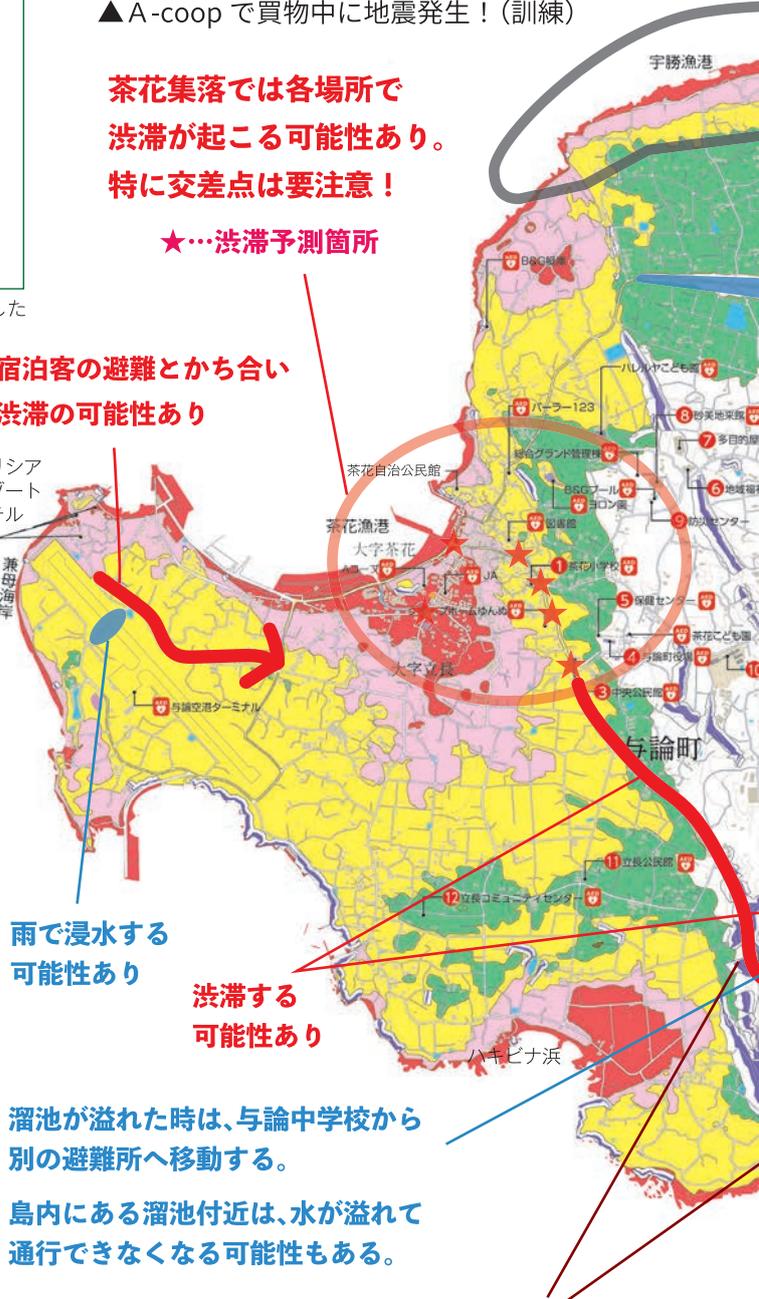
▲災害の起こる日の天候は分からない。
訓練の日は雨が上がった直後でグラウンドは水溜まりだらけだった。

**茶花集落では各場所で
渋滞が起こる可能性あり。
特に交差点は要注意!**

★…渋滞予測箇所

**宿泊客の避難とかち合い
渋滞の可能性あり**

プリシア
リゾート
ホテル



**雨で浸水する
可能性あり**

**渋滞する
可能性あり**

**溜池が溢れた時は、与論中学校から
別の避難所へ移動する。**

**島内にある溜池付近は、水が溢れて
通行できなくなる可能性もある。**

**傾斜地が崩れる
可能性あり**

	海拔 約0m~5m
	海拔 約5m~10m
	海拔 約10m~20m
	海拔 約20m~30m
	海拔 約30m以上
	土砂災害警戒・特別警戒区域
	急傾斜地崩壊特別警戒区域
	急傾斜地崩壊警戒区域

防災マップはこちらのQRから
ダウンロードできます



与論町 防災マップ

災害に強い 与論島を めざして！



あなたの声を
聞かせてください。

様々な事情で訓練に参加できない方もいると思います。しかしご自宅や自分の身の周りで活かせることはたくさんあります。

ここでは訓練を通して出たご意見や気持ちを皆さんにも共有します。「我が家はどうかな?」「自分ならどうする?」と考えるきっかけに、ぜひお読みください。

交差点では渋滞が起こる！

今回の訓練、私はパチパチ商店の前で様子を見ていたが、その交差点で渋滞が起こっていた。交差点や避難所付近では渋滞が起こることは避けられないだろう。



避難誘導を誰がやるのか?

訓練では交差点などで消防団員が誘導を行ってくれていた。しかし、いざという時は、消防団員が誘導することは不可能と思われる。近隣の人やその場にいた人がとっさに誘導することになるだろうが、誘導係はとても大事でとても難しい。誘導の仕方を学ぶ場があるといいと思った。

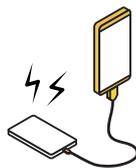
誘導係は目立つ服装を

誘導係をするときは目立つ服装やライト、誘導灯などがないと危険! 特に夜間は必須。

渋滞で進めず

お腹はすくし、トイレも不安

避難所まですぐに行けるとは限らない。今回の訓練は朝7時の地震を想定していたので、避難所に向かう車の中でお腹はすくし、携帯電話の充電は減っていくし、トイレも不安。車の中にも少し避難道具を置いておくといいかも、と思いました。



徒歩避難も視野に入れる

銀座通りなど茶花の町中には路上駐車をしている車(運転手不在)を見かける。避難時の妨げになりそう。

観光客のことも考えよう

観光客の多い時期は、避難所までの道が分らない観光客の車が避難時の妨げになる可能性も。レンタカーに防災マップを載せるとか対応策を考えておくことも必要ではないか。

避難所では、協力し合おう

高齢者の避難が多いことが予想されるので避難所に用意している簡易ベッドは足りなくなるだろう。非常食糧の備えも足りなくなったり、実際の避難所では不便がたくさんある。そこにいる皆で防災知識を共有して出来ることを提案していきたい。

どんな備品があるの?



▲簡易ベッド



◀災害用トイレ ラップボン水を使わず臭いも漏らさない。災害時に役立つトイレとして注目されている。



▲ワンタッチパーテーション シングルサイズの布団が2枚並べるくらいの大きさ(ひと家族用)

情報伝達、共有の難しさ

高台の人は低地の浸水状況が分からないし、低地の人は避難所の混雑情報が分からない。自宅やその場から動かなくても情報が分かるようになるというのだけど…



渋滞・危険な道・通行止め：その時に情報が欲しい！

木や電柱が折れて通行止めになっていたり、牛が脱走してるかも！ピンポイントで情報が欲しい。抜け道情報もあると助かる。

自主防災組織を強化したい

訓練に参加してみて、集落ごと activities している自主防災組織の見直しや強化が必要だと感じました。

各集落ごとで訓練を行ったり、いざという時にどういことが起こるか訓練の機会を増やすこと、シュミレーションを行うことが大事だと思います。

災害をイメージして

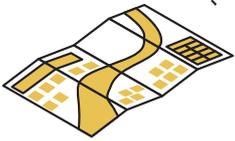
実際の災害時に同じように配置や誘導ができるのか疑問に感じた。実施に災害が起きた時に、みんな先に避難したがる可能性が高くて、混雑が起きるのではないかと、実際のイメージをするようになった。何度も考えることで、イメージがより具体的になってきた。

病院などでは、上の階へ

災害が起きた時に車がない場合もあるだろう。いつ災害が起こるか分からないので完璧に準備することは不可能だと思う。車がなければ、高い建物へ逃げる。病院などで動けない方が多い場所では上の階へ逃げるなど、その場の状況により判断できるだけの知識や判断力が必要。

他の人の気づきが参考に

訓練には自分の知らない様々な業種の人に参加していたので、専門知識とかその業種の人だから知っていること、アイデアなどがとても参考になった。家に帰ったら、家族に教えようと思う。



行政と町民の距離の近さ◎

与論町の良いところはコンパクトタウンであることだと思う。行政と町民の距離が近く、顔の見える関係であることはこの町の長所だと思う。災害時にこうあったらいい、という理想はたくさんある。その理想に近づくために、今回のような機会を使って話合ったり、実践を繰り返していきたい。

柿沼准教授の津波に関する講話 ※一部抜粋

- ①津波は何波も続いてやってきますが、一番目が最大とは限りません。警報が解除されるまでは安全な場所待機しましょう。
 - ②高い場所に避難を目指しますが、まずは「低い土地から脱出すること」が重要です。
 - ③島の一方からの津波でも島を回り込むことも考えられます。津波が来た時にどうやって逃げるのかを考え想定内しておくことが大事です。
- 複数の道や複数の情報源を知っておくことも大事です。



たけむら たくや あかり
竹村 拓哉さん・朱織さん親子

お父さんと一緒に
訓練に参加してくれました！

訓練に参加して良かったです。何か起これば夜中でも出動していくお父さん。心配だけど無事に帰ってきてくれることを祈っていつも応援しています。

参加された皆さん、
たくさんの気づきや提案を
ありがとうございました！



たくさんの思い出を
ありがとうございます!

55年間の歴史に幕 与論町中央公民館が閉館

与論町中央公民館は、1969年(昭和44年)に農村振興センター落成後、翌年の1970年から町の社会教育の拠点として運用を行ってまいりました。

建築から55年が経過し、施設の老朽化が著しく、今後の在り方についてこれまで検討・協議を行ってまいりましたが、施設を利用される皆様方の安全面を考慮した結果、今後の施設運用は困難との結論に達し、令和7年3月31日をもちまして閉館することとなりました。

中央公民館閉館後の公民館教室につきましては、各自治公民館や公共施設を活用して継続して活動を行えるよう調整を行っております。これまで公民館教室や各種行事、結婚式など、多くの皆様方に愛されご利用いただいたことに心から感謝申し上げますとともに、閉館により多大なるご不便をお掛け致しますが、町民の皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



【表紙の答え】

写真撮影にご協力くださったのは歴代の
中央公民館 館長・副館長の皆さんでした。

写真後列： 柳田 孝志、松村 誠司 (現公民館長)、瀧 正夫、
川上 政雄、中山教育長、川上 嘉久

前列： 裾分 大喜、有馬 淳、杉本 圭介

※敬称略。ご都合のついた方のみご協力いただきました。

今後、中央公民館に関するお問い合わせは 与論町教育委員会 TEL：0997-97-2441

令和6年度一般コミュニティ助成事業の報告

一般財団法人 自治総合センターは宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源とするコミュニティ助成事業を実施しています。

この事業を活用して、立長自治公民館は下記備品を宝くじの助成金で整備しました。

令和6年度一般コミュニティ助成事業



立長自治公民館

- ・壁掛けエアコン
- ・折りたたみイス
- ・折りたたみミニチェア
- ・折りたたみイス台車
- ・ガーデンベンチ
- ・電動かき氷機
- ・台付鉄板焼
- ・マイク
- ・マイクスタンド
- ・マイクケーブル
- ・大型扇風機
- ・CD/CTR プレイヤー
- ・ガス式バーベキューコンロ
- ・クーラーボックス 150L
- ・イベント用ビブス



折りたたみイス



台付鉄板焼



壁掛けエアコン・室外機

水道課からのお知らせ

水道課

与論町水道事業指定給水装置工事事業者規程第7条の規定により、下記の者が工事事業者を休止しましたのでお知らせします。

株式会社原建設 代表取締役 原 令

与論町ふるさと納税はこちらから

約 300 種類の豊富な返礼品がございます



ふるさとチョイス



ふるなび



楽天ふるさと納税



さとふる

お問い合わせ 与論町 総務企画課

TEL 0997-97-3111

Mail kikin@yoron.jp



東海学園大学のともいき教養教育

名古屋の大学生がボランティア活動を実施！

東海学園大学(愛知県名古屋市)のともいき教養教育科目「ボランティア活動」授業の一環で与論島で3泊4日の実習が行われました。この実習は昨年に続き2回目ですが、今年参加した学生10名のうち9名は初めての与論島。滞在中は寒波が来ていましたが、学生たちは寒さに負けず「海がきれいで感動しました」「今朝は海謝美さんと一緒に、海岸のゴミいっぱい拾いました！」など島での活動に生き生きと取り組んでいました。

【主なスケジュール】

1日目 与論島到着 宿泊：星砂荘

2日目 地域理解(島内観光)

植栽ボランティア

与論高校生との交流会

高校生による司会進行のもと、お互いの地域の文化・観光・言葉・食べ物について紹介し合いました。「きしめん」を知らない与論島の学生にうどんとの違いを説明したり、与論高校生がゆんぬふとうばで「サバ」は何のことかクイズ形式で教えたりと、教室内に笑い声が響き合っていました。

3日目 海岸清掃ボランティア
シェア畑の草抜きボランティア
(パナウルファーム)

昨年の与論イノベーンちゅ優秀賞を受賞した大山さんのシェア畑の草抜きをしてくれました。「一人で何日もかかかことが、あっという間に終わった。マンパワーってすごい！」と大山さんもびっくり。

地域理解(百合ヶ浜ツアー)

4日目 海岸清掃ボランティア

担当の牧野准教授より「学生たちは与論島で体験する全てのことに感動し、強い刺激を受けたようです。ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました」というお言葉がありました。



▲参加者の小浜隼士(こはまはやと)さん、お母さんが与論島の出身だそうです。「海岸清掃頑張りました！」と報告してくれました。



● 第5回「ヨロン海洋教育フェア」開催



与論島内すべての学校で取り組んでいる海洋教育「ゆんぬ学」。児童・生徒たちが学びの成果を発表しました。小学生は与論の海や伝統・文化について、中学生は防災意識を高めることや、女子サッカーを盛んにするためにできること。高校生は東京大学でのサイエンスキャンプ成果発表、人口減少についてや、ムヌ（妖怪）についてなど。発表内容に感心し、また、与論についての基礎から始まって興味を広がり、探究へと繋がっていく、成長過程も感じられる時間となりました。

● 令和7年、出初式を行いました



令和7年1月11日、出初式を開催しました。式典では、日頃から地域の安全を守る消防団員の皆さんの功績を称え、表彰が行われました。若松団長は40年勤続章を受賞し、その長年の献身的な活動に改めて敬意が表されました。その他、計8名の消防団員が受賞し、地域防災への貢献が讃えられました。今後も、消防団の皆さんと共に安全・安心なまちづくりに努めてまいります。

● 人権擁護委員の改選



令和7年1月1日より、沖島範幸さんが新たな人権擁護委員として法務大臣から委嘱されました。人権擁護委員制度は、日常生活の中で人権尊重思想の高揚を図るとともに、人権侵害による被害者を救済し、人権を擁護していくという考えから設けられたものです。与論町の人権擁護委員は3名。松山陽右さん、川畑こず枝さん、沖島範幸さんです。人権擁護委員の方々のますますのご活躍を祈念し、ここに紹介させていただきます。

● ゆんぬ古写真展 vol.4 が開催されました



2月13日～28日まで砂美地来館にて「島の自然と暮らしのゆんぬ古写真展」が開催されました。令和3年から市民参加型の協働研究として自然と共に生きてきた知恵や暮らしの移り変わりに関する歴史文化資料の収集と記録が行われてきました。4回目の開催となる今回は「備える、転じる」をテーマに台風や大雨、水不足などの自然災害に関する写真や、海の災い・陸の災い・畑の災いなどテーマごとに約80点の写真が展示されました。

与論町国民健康保険では、健診や医療情報の分析と活用により、効果的な疾病予防や健康づくりを行うため『第3期データヘルス計画』を令和6年3月に策定しました。

第22回

与論町の男性は全国の平均より 平均余命が4歳短い!!

【与論町の健康課題】

与論町国民健康保険においては、全国と比較して男性の平均余命が4歳短いことがわかりました。その背景には運動不足、適正飲酒量以上の飲酒など毎日の生活習慣が大きく影響しており、その結果として脳血管疾患及び男性の虚血性心疾患の死亡率が高くなることにつながっています。

肥満、運動不足、適正飲酒量以上の飲酒割合が高い

高血圧症や脂質異常症の未治療者が多い
メタボ該当者及び予備群が多い

脳血管疾患及び男性の虚血性心疾患の死亡率が高い

一年に1回の健康診断を受け、自分の
身体の状態を確認してみましょう!

男性の短命(平均余命の男女差が13.6歳)

～令和4年度 健診受診者の質問票の結果から～

飲酒項目について、毎日飲酒する方の割合は県と同規模市町村と比較して大きな差は見られませんが、適正飲酒量となる1合以上の割合が63.8%と高くなっています。

質問票の回答	与論町		鹿児島県	同規模	全国	
	人数	割合	割合	割合	割合	
喫煙	83	14.7	11.4	15.1	13.8	
20歳の時から体重から10Kg 以上増加している	247	44.9	36.1	35.9	35.0	
1回30分以上の運動を週2回以上する習慣がない	365	66.4	56.9	65.2	60.4	
1日1時間以上歩行と同等の身体活動をしていない	286	52.0	45.8	47	48.0	
就寝2時間以内に夕食をとることが週3回以上ある	167	30.2	17.6	16.4	15.8	
朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を毎日摂取している	130	23.7	18.9	21.6	21.6	
朝食を抜くことが週に3回以上ある	75	13.7	9.1	8.6	10.4	
お酒を飲むことが毎日ある	135	24.6	25.5	26.4	25.5	
一日飲酒量	1合未満	112	36.2	62.8	59.9	64.1
	1～2合	120	38.8	28.3	26.6	23.7
	2～3合	62	20.1	7.6	10.4	9.4
	3合以上	15	4.9	1.3	3.2	2.8
食事をかんで食べる時の状態:かみにくい	164	29.8	22.3	22.4	19.9	
食事をかんで食べる時の状態:ほとんどかめない	8	1.5	1.0	1.0	0.8	

保健センターだより

お酒編 今日からできる飲み過ぎ対策!!

適度な飲酒量の
目安

- アルコール飲料と同じ量の水分を摂るとアルコールの血中濃度が上がり過ぎず、飲み過ぎ予防に効果的。
- 飲む量をちょっと減らすだけで、大きな効果が・・・
毎日飲む量からビール500ml缶1本分減らすと1か月で脂肪1kg分の摂取カロリーが減ります。



男性
ビール500ml



女性
高齢者
ビール350ml

無料で使える便利なアプリ紹介「節酒カレンダー」 (<http://alc.okinawa.jp/app>)
沖縄県の作成したアプリ飲酒日記をつけることができます。



ひとりで悩んでいませんか?～相談窓口のご案内～

誰しもいろいろなストレスを抱えているものです。「このくらいなら大丈夫」と思っている、ストレスが長く続いたり、いくつものストレスが重なり合うことがあります。
ひとりで悩まずに、早めに相談しましょう。

<こころとからだに現れる変化>

- ・眠れない・食欲がない・だるい
- ・落ち着かない・集中できない
- ・不安・恐怖・イライラ・やる気がでない など

- 与論町保健センター (0997-97-5561)
- 徳之島保健所 (0997-82-0149)
- よりそいホットライン (0120-279-338)
- 24時間こどもSOSダイヤル (0120-0-78310)
- こころの健康相談統一ダイヤル (0570-064-556)
- NPO法人 ネットポリ鹿児島
LINE ID「meyasubako」で検索可能です
- こころのほっとチャット LINE ID「kokorohotchat」
もしくは右の QRコードより



お問合せ先

与論町保健センター

TEL : 0997-97-5105 FAX:0997-97-5110



与論地区



茶花地区



那間地区

二十歳のつどい

1月2日、与論町砂美地来館で「二十歳のつどい式典」が開かれ、53名（男性22名・女性31名）が参加しました。二十歳を迎えた皆さん、本当におめでとうございます。社会へ踏み出す皆さんの活躍を心より期待しています。【写真提供】MED E O